



愛知陸協広報

第32号

平成26年3月31日発行

一般財団法人 愛知陸上競技協会

〒460-0012 名古屋市中区千代田二丁目19番16号千代田ビル7F

電話 (052) 249-4363 ファックス (052) 249-4366

ホームページ: url <http://www.aichi-rk.jp/>

今年も活躍した 愛知の駅伝チーム

(写真提供: 中日新聞社)



都道府県女子駅伝4位 県最高記録で5年連続入賞



全国高校女子駅伝 豊川高校最多(4回)優勝のゴール



一年を振り返って

愛知陸上競技協会 副会長 村瀬 雄一郎

しばらく空席であった協会の会長に前副知事稲垣隆司氏をお迎えし、早くも一年が過ぎようとしています。稲垣会長は学生時代、名岐駅伝や東海学生駅伝を走った経験を持たれたかつての長距離ランナーでいらっしゃいます。公務が多くご多忙の中、主だった大会や行事には積極的に参加いただき、協会の皆さんと親睦を深めておられます。誰とでも謙虚な気持ちで接しておられる真面目なお人柄は、これ以上ない人に就任いただき大変うれしく存じております。

また、新しく専務理事になられた稲垣裕さんも各大会の進行状況をしっかり把握し、各部署との十分な連絡協力を心がけて職責を十二分に果たしておられます。

2020年の東京オリンピック開催を見据え、若い選手たちの意気込みには熱く、大きなものがあります。愛知陸協としても選手強化により真剣に取り組み、将来に向けて日本代表となる選手が輩出できるように励んでほしいと願っています。強化委員会の皆さんをはじめ、また各持ち場での熱いご指導をお願いする次第です。

この一年をふり返れば、各地区の大会をはじめ愛知陸協主催の数多くの大会や全国規模の大会など、競技運営に格別のご協力をいただきました。おのおのを成功裡に終え、大きな実績を積み上げていただいたことに深く感謝申し上げます。

平成26年度も例年通り多くの大会が予定されています。来シーズンも、皆様の変らぬご支援、ご協力を祈念しご挨拶といたします。

専門委員会報告

総務委員会

2014年の競技日程も発表されました。以下、登録についてお知らせします。公認の陸上競技会等に審判員・競技者として参加するためには、愛知陸協に登録し、日本陸上競技連盟の登録会員にならなければなりません。登録は毎年更新されますので、その年度ごとに登録が必要となります(有効期間は4月1日～翌3月31日)。

愛知陸協に登録された審判員・競技者は、当協会が日本陸上競技連盟に会員申請し、初めてその資格を得ます。このことを念頭において、当協会発行の「登録要項」または、ホームページを参照して登録手続を行ってください。なお、不明な点は、事務局(電話052-249-4363)までご連絡ください。また、年度の登録申請期間は、毎年3月1日～11月30日(高校は10月31日)までです。登録担当者・申請先を掲載します(転勤等で、担当者の所属先が変わる場合があります)。

一般団体・個人

名古屋	赤司 学	市工芸高等学校
尾張	藤田 剛	一宮南高等学校
西三河	山村 晃泰	刈谷高等学校
東三河	山本 誠司	蒲郡東高等学校

大学生

全県	愛知陸協事務局	052-249-4363
----	---------	--------------

高校生

名古屋北	新美 準人	菊華高等学校
名古屋南	小田垣充雅	名女大学高等学校
尾張	宮本 智	尾北高等学校
知多	成田 稔	武豊高等学校
西三河	阿部 直紀	安城南高等学校
東三河	中村 昭広	豊橋工業高等学校

中学生(学校・クラブ・個人)

名古屋	森 剛人	日進東中学校
尾張	酒井 達哉	古知野中学校
西三河	細井 太郎	美川中学校
東三河	岡田 淳史	南陽中学校

小学生友の会

名古屋	石田 伸	東浦藤江小学校
尾張	西村 嘉二	木曾川東小学校
西三河	小林 良博	安城東部小学校
東三	手嶋 修次	NPO法人蒲郡アスリート コミュニケーションズ

(水野 隆夫)

競技・情報処理委員会

2013年度シーズンも終了し、いよいよ新しいシーズンの開幕です。スタートに関するルール改正後、各地で戸惑いながら競技が行なわれているようです。ルール上、不適切行為における警告もあり、1回では不正スタートとみなされない場合もあるので戸惑うこともあったと思います。愛知陸上競技協会ではいち早く新ルールを取り入れ、中学生でも対応できるようになってきました。

愛知陸協では、協会主催の大会において、新ルールの適

用を原則としています。しかし一部の大会ではまだ旧ルールを適用するので、大会要項や競技注意事項で確認してください。

一年を通して、愛知では国際的、全国的な大会や東海大会から小学生の競技会まで幅広く競技が行なわれています。多くの競技者が出場しそれを支える競技役員、競技補助員によって競技が運営されています。それぞれが協力し合って、競技者がよりよい環境で競技できるように今後もご協力をお願いします。(榊原 茂)

施設・用器具委員会

陸連主催の2013年度全国区域技術役員会議に2名参加

日々ご活躍されておられます審判員の皆様方におかれましては、“検定員”という肩書きはご存知でも、“技術役員”という肩書きを聞いたことのある方々は少ないかと思われます。“技術役員”とは、あるときは検定員の助手として検定業務に携わったり、次期検定員の候補者として研修を積み重ねたり、自転車計測員の資格も有した暁には、検定員と同等の立場で道路コースの検定を行ったりする日本陸連に所属する派遣会員です(もし、興味がありましたら愛知陸協施設用器具委員会までご連絡ください)。

その技術役員としての資格(任期は2年)を取得もしくは更新を主とした「2013年度全国区域技術役員会議(研修会)」が、関東では実に45年ぶりの大雪となった2014年2月8日(土)と9日(日)の2日間にかけて、新横浜駅近くにあります日産スタジアムで行なわれました。今回は6期目となる私刈谷工業高校実習教員の平川貴之と新たに愛産大工業高校の南康次郎教諭を加えた2名で受けさせていただき、無事に全課程を修了してまいりました。今後は、2014年度・2015年度中に予定されている競技場並びに長距離競走路の検定時に、どちらか1名が青木検定員と共に派遣されることとなりますので、お近くに訪れた折には、よろしく願いいたします。

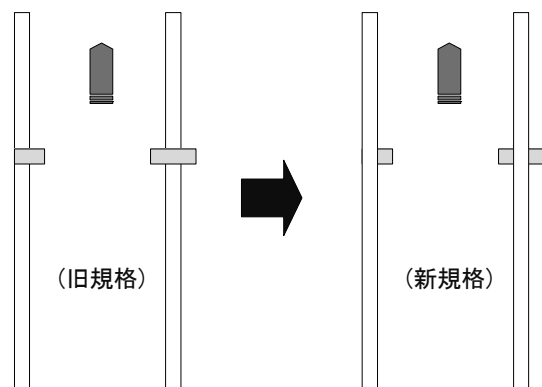
さて、研修会の講義内容の中で、来年度以降の施設用器具に関する規則の修正について細かく話がありましたので、改正点3項目を報告させていただきます。

①公認料・検定料の値上げ

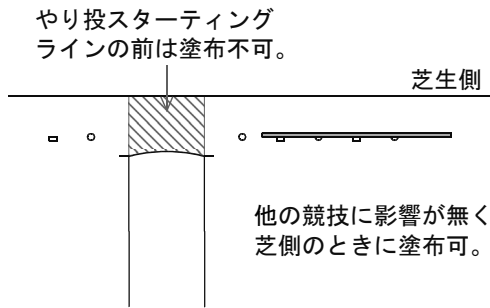
消費税率アップに伴い4月以降申請された件については、公認料・検定料とも3%分転嫁されます。将来的に10%にアップするときも、同様の扱いです。(所有者の財源によっては、競技場使用料が値上がるかもしれません。)

②全天候舗装用マーキングの一部改正

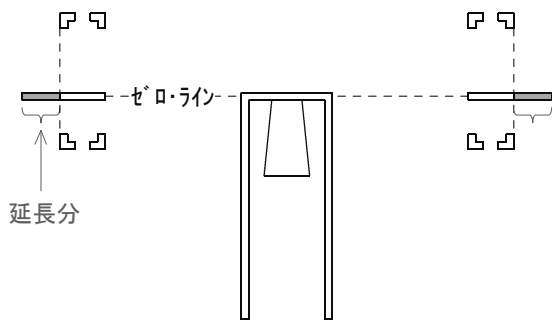
- a. ハードルの位置は、レーンを分ける白線が優先となるようなマーキングに変わります。



- b. 芝生側に限り、走高跳の判定補助線は塗装可となります(競技開始前のラインテープ貼り作業が少し軽減できます)。



- c. 棒高跳支柱台のゼロ・ラインは支柱台枠の外縁へ50cm程度延長して塗装してください(全天候舗装が施されている競技場に限り、次回改修工事の時に順次施行していけば結構です)。



③新“検定メジャー”の使用開始

日本国内においてトラックの1周の長さは、光波による測定ではなく、専用の50m鋼尺(検定メジャー)で半径を測り計算で求めています。現メジャーが生産終了となったことに伴い、この度新しく設計されたメジャーに切り替わります。メジャーの仕様が変わるだけで、測定方法等に変更はなく、検定に携わる者でなければ注目すべき修正事項ではありません。(平川 貴之)

審判委員会

1 公認審判員昇格制度について

日本陸連では年に一度S級公認審判員の昇格審査を行っています。今年も新しく8名の方がS級に昇格されました。公認審判員にはS級、A級、B級の種別があり、それぞれ

- S級：永年にわたって審判活動に精励し、熟練した審判技術と知識を有する者。
- A級：数多くの審判活動を通して、より高い審判技術と知識を身につけた者。
- B級：講習会を受講し、公認審判員として必要な技術と知識を身につけた者。

と、審判規程にあります。どの審判員の方も始めは、B級(以前は3種)からスタートをし、日本陸連が定める基準と加盟団体(愛知陸協)の推薦を受けクリアした審判員の方が昇格の対象となりA級、S級へと昇格していきます。定める基準とは具体的にどのようなものか。愛知陸協では日本陸連の基準より、次表のように推薦基準を定めています。

種別	経験年数	最低年齢	出席日数等の基準
S級	A級取得後10年以上(旧1種)	満60歳以上	A級取得後 200日以上。 ・最近5年間で全国大会3日以上。 ・最近5年間の出席日数が毎年10日以上。 ・県大会以上の経験が最近5年間で20日以上。 ・審判伝達講習会を最近5年間に3回以上受講。 ・A級審判員資質向上研修会を受講した者。
A級	B級取得後10年以上(旧2,3級)	満28歳以上	B級取得後 ・最近5年間の出席日数が毎年10日以上。 ・県大会以上の経験が最近5年間で10日以上。 ・審判伝達講習会を最近5年間に3回以上受講。
B級	実技実習	満18歳以上	B級取得審判講習会を受講してテストに合格した者。

多くの審判員の方がS級、A級に昇格され活躍されることを期待します。なお詳細や推薦基準に該当する審判員の方がみえれば、各地区の審判委員長にお聞きください。

2 日本陸連公認審判員証の制定

これまで使用していた公認審判員胸章(日の丸、NRRロゴ)に替え2014年度から下図の公認審判員証になります。従来の胸章保持者(2013年度陸連登録者)は無償で配布いたします。また愛知陸協では審判員証を入れる首掛けケース(指定)も同時に配布します。配布については、各地区の審判部から講習会や競技会のおりにお渡しする予定です。



新公認審判員証

(小森 好治)

選手強化委員会

2014 都道府県対抗男女駅伝報告

本年度女子チームの最年長者は、22歳の鈴木亜由子選手。平均年齢17.9歳の若いチームです。全国高校駅伝優勝メンバーとユニバーシアードメダリストを中心に豪華メンバーで臨んだ今回の目標は「優勝」でした。

昨年の大会前日、ミーティングで「愛知はもう入賞を狙う段階でない」とキャプテンとしてチームを牽引した小倉選手(TOTO)の言葉を実現する年となりました。その小倉選手を昨年同様アンカーに起用する予定でしたが、直前の故障により豊川高校OGである宮田選手(時之栖)に変更して4区に配置。その結果4区を予定していた荘司選手(中京大)を急遽アンカー区間(10km)に起用することになりました。力不足が否めない3、8区の中学生区間とア

クラブ紹介②⑥ めまちゃんず

1 チーム発足からの経歴

- 2008年12月 中学時代の陸上部顧問より江南市民駅伝参加を勧められ発足
チーム名は恩師である飯沼先生から頂いた
- 2009年2月 江南市民駅伝【優勝】
- 2010年10月 ランRUN フェスティバル in ICHINOMIYA【優勝】
- 2013年3月 陸連登録
(陸連登録の背景)
・着実に力をつけてきたことで、チームメイトから「名岐駅伝に出場したい!! 恩師である飯沼先生を監督車に乗せたい!!」という熱い要望があった
・尾張に一般のクラブチームが少ないことからチームの必要性を感じた
- 2013年4月 ひるがの高原リレーマラソン in 牧歌の里 2013
【Aチーム男子の部優勝(3連覇) Bチーム男女混成の部優勝】
- 2013年9月 アクトス6時間リレーマラソン 2013in ナゴヤドーム
【Aチーム男子の部優勝(2連覇) Bチーム男女混成の部優勝】
- 2013年11月 第60回中山道東濃駅伝競走大会【一般Bの部優勝】
- 2014年1月 第61回尾張駅伝競走大会【一般の部優勝】
- 2014年2月 江南市民駅伝【Aチーム優勝(6連覇) Bチーム準優勝】

2 メンバー

地元江南市民に限らず約30名(陸連登録者15名)

3 チーム方針

- ・感謝の気持ちを忘れない
- ・楽しく走る(リレーマラソン、BBQ、合同練習会などイベントを多く企画)
- ・走りを通して江南市の活性化に貢献(愛知駅伝江南市チームの練習会や地元の大会に参加)

4 2014～2015年の目標

チーム目標

- ・名岐駅伝への出場(名岐復活を熱望)
- ・江南市民駅伝連覇
- ・中山道東濃駅伝一般Aの部入賞
- ・富士登山駅伝出場

個人出場予定

- ・びわ湖毎日マラソン
- ・犬山ハーフマラソン
- ・愛知県選手権

5 練習内容

- ・平日個人練習(ジョグノート、ブログ等で共有)
- ・休日全体練習

6 練習拠点

ロングパート: 土曜日⇒名城公園 日曜日⇒森林公園 or 猿投山 or 多度山
ミドルパート: 土曜日 or 日曜日⇒一宮総合運動場

7 練習メニュー

- ・3月～7月: ロングパート⇒(土)20km ペースランニング
(日) クロスカントリー
ミドルパート⇒(土 or 日) インターバル&レペティション
- ・8月～2月: 全員⇒20km～30km ペースランニング
日曜日⇒森林公園 or 猿投山 or 多度山

8 補足

・名城公園での練習会は他チームとの合同練習会 ・フリージョグのチームもあり ・レベルに合わせて細かくチーム分け
最後に、このような機会を与えてくださった愛知陸協の皆様、日頃ご理解を頂いている関係者の皆様に感謝を申し上げます。(掛布 晃)



アクトス6時間リレーマラソン男子の部優勝(2連覇)



江南市民駅伝Aチーム優勝(6連覇)



第60回中山道東濃駅伝一般Bの部優勝



第61回尾張駅伝一般の部優勝

ンカー区間が不安材料となりスタートを迎えたのです。
風もなく絶好の好条件下でスタートした第1区を今回も担ったのは、最年長選手となった鈴木亜由子選手。中学時代から10年間愛知登録で走ってきた亜由子選手は来年から実業団入りし、東京登録となります。僅かの差で区間賞を逃し続けてきた昨年までのリベンジを学生最後の年で成し遂げたかったのですが、これはふるさと選手としての出

場となる来年以降に持ち越しです。それでも区間3位と優勝射程距離内の好走でした。

全国高校駅伝で優勝した豊川高校のメンバーで今回再び都大路を走ったのは2区鷺見、5区堀、6区関根、7区加治屋の4選手。鷺見選手は区間賞、優秀選手賞、関根選手も区間賞、未来賞、堀選手は区間2位、加治屋選手は区間5位でした。最大のピーキングで全国高校駅伝に臨み、優勝

した後の大会であることを考えると、豊川高校の選手のレベルの高さが群を抜いている厳然たる事実が見られます。1週間前の選手選考レースにおいてもライバルである県内選手を全く寄せ付けない走りをみせてくれました。例年選考レースはラストで勝負が決着する傾向が見られますが、今年はレース3分の2で決着が付きまして。強さと安定感が群を抜いている集団です。今回の4位入賞の原動力となった力です。さらに母校で練習を重ね交代で出場した実業団の宮田選手も区間2位と素晴らしい走りを見せてくれました。卓越した指導力を誇る豊川高校森駅伝監督は、今年長崎国体で高校優秀指導者賞を授与されることになっています。

高校生の選考レースとは対照的に、期待するタイムに到達できないまま不安を抱えて本番に臨んだのが中学生区間でした。地元で開催された全中で男女中長距離種目の標準突破者ゼロであった、近年にないトラックでの結果が影響したと言えます。中学生2区間の合計タイムを県別順位に換算すると29位でした。全中駅伝県代表が24位であり、これらを分析すると3位であった岡山県と共通点が見られます(表1参照)。それでもアンカーの莊司選手に渡ったときの順位は3位。莊司選手を抜き去ったのは元オリンピック選手である重友選手(岡山・天満屋)でした。莊司選手はまだ二十歳。10Km区間の準備をすることなく走った33分10秒は健闘と言えるでしょう。

フィニッシュタイムの2時間16分25秒は愛知県最高記録でした。チーム愛知女子は来年こそ悲願の優勝を目指します。それには中学生の競技力向上が不可欠な要因であることはデータから確認できます。

順位	県名	中学生 区間合計	中学生 区間順位	全国中学 駅伝順位	全国高校 駅伝順位
1	京都	19.24	3	2	3
2	群馬	18.78	2	1	7
3	岡山	19.77	22	28	2
4	愛知	20.24	29	24	1
5	神奈川	19.68	19	19	9
6	兵庫	18.77	1	11	4
7	静岡	19.60	14	18	18
8	福岡	19.58	11	21	16
14	千葉	19.49	6	3	13
18	長崎	19.34	4	8	20

男子は組織を一新して再スタートの年となりました。地元有力企業であるトヨタ自動車の佐藤監督を男子監督に迎え、中学、高校区間で繋いだ流れをアンカー区間で途切らすことなく順位を上げられる有力選手の起用を可能にしました。今年の目標は3位。男子チームは中学、高校共にトラックで全国レベルの活躍実績はないものの、駅伝で要求される安定した走りのできる少年選手とトヨタ自動車所属の選手でチームを編成しました。

結果は一度もトップ争いに加わる事がなかった17位でした。危機感を覚えたスタッフが結果を分析し、資料を作成しました。その資料から見えた男子駅伝を振り返ります。

順位	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位
県名	長野	埼玉	群馬	長崎	宮崎	福島	三重
平均順位	10.3	14.3	10.1	9.6	16	12.6	13
一桁順位数	4人	4人	2人	3人	4人	4人	3人
3区終了時	1位	16位	4位	5位	3位	11位	18位
4区以降タイム	86.25	86.1	86.48	86.49	87.03	86.45	86.29

高校生から中学生に繋ぐ1区、2区の中継は毎年大混戦となります。1区のラスト1kmまで集団で粘り、少しでも

前の順位で中学生に引く継ぐことがその後の展開に大きく影響を与えます。また、3区の成年選手区間までの順位がゴール順位に影響することが分析から分かりました。昨年3位でフィニッシュした時の3区通過時間が52分53秒。今年は53分49秒(56秒遅れ)でした。4区から7区までの後半区間を比較すると昨年は1時間27分42秒。17位であった今年はそれより9秒速いタイムでした。つまり前半区間の差が順位に大きく影響したということです。この結果から前半区間の重要性が見出されました。今年は前半3区間から悪い流れができ、それが負の連鎖となって個人の区間順位も一桁がゼロとなるような走りになりました。3区、7区の成年選手区間の合計タイムも順位に大きく影響を与えることがデータから見いだせました。レース展開が選手の力を削ぎ不本意な結果となった今年、反省する材料が多かったのは事実です。結果分析だけに留まらず成果に結びつくような強化の方策を推進していくことが肝要です。

今年も両大会において、大会期間中愛知県人会の皆様からの激励やご厚情を頂きました。また、女子駅伝では稲垣会長より応援、ご高評を賜りました。愛知陸協からは今年もバスツアーを企画していただき、沿道、スタンドから熱烈な応援を受けて選手、関係者共々感激しました。

大会関係各位、選手起用に関してご配慮頂いた所属の皆様方、愛知陸協応援団の皆様にはこの場をお借りしてお礼を申し上げます。男女アベック優勝を合言葉にチーム愛知の結束を図り、強化を推進していく所存であります。(北村 肇)

記録委員会

全国の主要な競技会については、各県陸協あるいは主催者のホームページ(HP)で県内選手の記録をチェックしています。県外出場報告のあった競技会についてもHPでチェックし、HPに載せられていない競技会については報告者に連絡をとり、リザルト等の報告の依頼をしています。このようにして正確な情報を集約できるようにしています。また道路競技については途中の記録も公認されるため、大会要項、陸連の資料からコースの高低等を確認し、公認、未公認の判断をして記録の情報を集めています。

2013年記録集も11月下旬に準備に入り日本陸連100傑の資料、専門誌の資料作成に二重、三重のチェックでより正確さを求めています。記録集の編集には高校の部、野口一昭氏(尾張陸協記録委員長)、中学の部、名倉喜三郎氏(名古屋地区陸協記録情報副委員長)を中心に各地域の記録委員長を始め記録担当者の正確な報告で作上げてきました。3月1日には発行しましたから既に届いていると思います。

県外競技会の出場は陸協の承認を得て出場していると思いますが、かなりの競技者が県外競技会出場報告を怠っています。毎年お願いをしていますが、必ず結果を報告してください。

2013年に更新された愛知県記録は一般男子は6種目延べ8、女子は2種目延べ3、ジュニア男子は7種目延べ8、女子は2種目延べ3、高校男子は6種目、女子は6種目延べ10(タイ記録を含む)、中学男子は6種目延べ11、女子は3種目延べ4、小学生女子は2種目でした。昨年に比べ全部門、更新が少なかったです。

以下、更新した最高記録を記します。

一般男子

400m 45.62 中野 弘幸(愛知陸協)

学校訪問② 愛知高校 男女ともに各パートで大活躍

今回は、男女ともに各パートで活躍を見せている愛知高校を訪問しました。昨年のインターハイでは及川文隆君が5000mWで5位に入賞しており、東海高校新人戦では女子が400mR、1600mRで2冠を果たしています。駅伝でも強さを示しており、昨年の県高校駅伝で男子が3位、東海高校駅伝では2位に入賞しています。いつものように今回も「強豪校には必ず強さの理由がある」との思いを持って取材しました。

真先に挙げなければならないのは、練習環境です。取材当日は大雪の翌日で、グラウンドでの練習はできない状態でした。取材を延期しなければならないとは思っていましたが、別の場所で練習するので大丈夫とのこと。延期をする必要はありませんでした。服部先生について出掛けたのは、ジョギングなら学校から10分ほどの平和公園でした。平和公園は階段が何段も続いていたり、トレーニングに最適な斜度、距離の坂道があったりと絶好の練習場所です。こちらは短距離陣が使用していました。トレーニングにおいては大きな筋肉を鍛えることが効率的と言われますが、大きな負荷をかけることができる練習環境において太腿から臀部にかけての筋肉がしっかりと鍛えられているのだらうと思われました。またスピード持久力、全身の持久力も鍛えられているのだらうと思われました。長距離陣は大会（西濃駅伝：結果は高校の部で男女ともに優勝）の前日ということで調整の日であり、主練習は墓地を囲むほぼ1kmの歩道での刺激走でした。1周が絶妙な距離であり、ペースランニングにも最適ではないかと思われました。道路を挟んだ反対側の公園には服部先生が設定された1350mのクロスカントリーコースもあり、存分に地の利が活かされています。学校のグラウンドには340mのトラックがあるということで、こちらも十分な活動スペースです。愛知高校の選手たちは、恵まれた練習環境の中で思う存分トレーニングを積んでいるのだらうと思われました。



坂ダッシュ



選手ミーティング

二つめには、選手たちの主体性と規律ある練習姿勢を挙げておきます。練習中に服部先生は見守っておられるという感じで、細かく指示を出すというではありませんでした。しかし、選手たちは与えられた練習内容に沿ってきびきびと動いていました。刺激走の前には各自が思い思いにアップしていましたが、この場面では服部先生の指示は一切ありませんでした。日頃の練習の中で培われた主体性で各自が動いていたのでしょう。スタート直前には服部先生が指示を出される場面がありましたが、その後で選手だけのミーティングが軽くなされました。その中で、男子にも女子にもメンバー全員に指示を出す選手がいました。服部先生のお話では、その日の責任者が指示を出していたとのことでした。長距離陣の練習は能力別に男子は3～6グループ、女子は3グループに分けてペース設定をしており、先頭で引っ張る選手は毎日自分たちで決めて交代しているというお話もありました。服部先生は常日頃、選手一人一人の中に自覚と責任感が養われるよう配慮しておられると強く感じました。

刺激走が終了してから、エッと思われることがありました。選手たちが全員黄色いビニール袋を手にして、歩道やクロスカントリーコースのゴミ拾いを行なったのです。感謝の気持ちを表わすということであれば当然の行動と言えるのですが、こうしたことを行なっている学校はそう多くはないでしょう。愛知高校は瑞穂陸上競技場での試合が終了した時や遠征時にも、同様にゴミ拾いをしているのだそうです。こうした活動の中で、チームとしての規律が養われているのだと思っても強く感じました。



ゴミ拾い



コーチの指示を聞く短距離陣

一方短距離陣の練習では、力を出し切っていることを強く感じました。70mあまりの坂と上がりきったあとの平坦な道を30mあまり走って1本が終るのですが、セットの最後の1本のあとでは倒れ込んで立ち上がることができない選手が数多く見受けられました。坂ダッシュそれ自体がきついものではありませんが、余力を残さず駆け上がっているからこそ立ち上がれないような状態になってしまうのでしょう。私にはそう見てとれました。「練習は本番のように、本番は練習のように」とよく言われますが、練習の一本一本に集中力が発揮されており、試合に近いような集中の中で負荷が十分にかかっていると思わずにはいられませんでした。それに、時間がきたから行こうかといった消極的な気持ちからのトレーニングではなく、二人一組のメンバーをじゃんけんで入れ換えるなど、積極的な攻めの練習になっているとも感じました。

三つめには、OBの支援を挙げておきます。取材当日は短距離陣と長距離陣が離れた場所で練習していたのですが、土曜日だということもあってかOBの一人が短距離陣の指導に当たっており、全ての選手に目が行き届いていました。また服部先生のお話では、OBの中に鍼灸師が一人いてもう一人の人と一緒に平日でも選手の身体のケアにあたってくれているというお話もありました。こうした援助に支えられて愛知高校の選手たちは、安心感をもって思う存分に練習に励むことができているのでしょう。

愛知高校には、男子の中に県代表として都道府県対抗駅伝を走った選手がいます。女子は既に、東海高校新人戦でリレーの2冠を果たしています。6月の東海高校総体、8月の全国高校総体で、愛知高校は今年も愛知県の力を示してくれることでしょう。また11月の県高校駅伝も楽しみだな、そう思いながら私は平和公園を後にしました。

(取材文責・写真 大西敏功)

			[静岡国際(小笠山) 5/3]	
30Km	1.29.51	宮脇 千博(トヨタ自動車)		
			[全日本実業団ハーフ(山口) 3/18]	
100Km	6.49.53	高田 由基(愛知陸協)		
			[サロマ湖ウルトラ100Km(北見) 6/30]	
5000mW	19.53.73	杏名 貴輝(東洋大)		
			[チャレンジミトウ熊谷(熊谷) 4/20]	
10000mW	40.41.73	木村 洋介(順天堂大)		
			[四大学対抗(相模原) 4/20]	
棒高跳	5.75	山本 聖途(中京大)		
			[日本学生個人選手権(平塚) 6/23]	
一般女子				
5KmW	22.34	前川 知美(三菱自岡崎)		
			[全日本競歩(途中)(輪島) 4/20]	
10KmW	45.54	前川 知美(三菱自岡崎)		
			[全日本競歩(輪島) 4/20]	
ジュニア男子				
200m	20.99	丹羽 勇輝(中京大)		
			[西日本学生対抗(鳴門) 7/7]	
400m	46.97	中川 滋貴(豊川高)		
			[全国高校総体(大分) 7/29]	
5000mW	19.53.73	杏名 貴輝(東洋大)		
			[チャレンジミトウ熊谷(熊谷) 4.20]	
5KmW	20.52	山田 康太(愛知高)		
			[日本ジュニア選抜(途中)(六甲) 2/17]	
10KmW	41.15	山田 康太(愛知高)		
			[日本ジュニア選抜(六甲) 2/17]	
ハンマー投(6.0Kg)	68.99	墨 訓熙(中京大)		
			[日本ジュニア選手権(瑞穂) 10/20]	
やり投	67.99	坂本 達哉(一宮南高)		
			[愛知投てき競技会(瑞穂北) 11/9]	
ジュニア女子				
3000m	9.06.97	関根 花観(豊川高)		
			[日体大長距離(日体大) 11/30]	
やり投	49.03	森 凧紗(名城大附高)		
			[名古屋南北高校学年別(瑞穂) 7/23]	
高校男子				
400m	46.97	中川 滋貴(豊川)		
			[全国高校総体(大分) 7/29]	
5000mW	20.36.96	及川 文隆(愛知)		
			[国民体育大会(味の素スタジアム) 10/7]	
5KmW	20.52	山田 康太(愛知)		
			[日本ジュニア選抜(途中)(六甲) 2/17]	
10KmW	41.15	山田 康太(愛知)		
			[日本ジュニア選抜(六甲) 2/19]	
棒高跳	5.10(タイ)	鈴木 康太(岡崎城西)		
			[中京大土曜競技会(中京大) 6/9]	
やり投	67.99	坂本 達哉(一宮南)		
			[愛知投てき競技会(瑞穂北) 11/9]	
高校女子				
100m	11.81(タイ)	杉山 美貴(中京大中京)		
			[東海高校総体(伊勢) 6/22]	
1500m	4.17.49	鷺見 梓沙(豊川)		
			[全国高校総体(大分) 7/30]	
3000m	9.06.97	関根 花観(豊川)		
			[日体大長距離(日体大) 11/30]	
棒高跳	3.50	佐藤 愛(中京大中京)		

			[大阪府選手権(長居) 6/30]
三段跳	11.93	中山 怜佳(岡崎城西)	
			[日本ジュニア選手権(瑞穂) 10/19]
やり投	49.03	森 凧紗(名城大附)	
			[名古屋南北学年別(瑞穂) 7/23]
中学男子			
110mH	14.18	八代 貢輝(佐織)	
			[全日本中学(瑞穂) 8/23]
4×100mR(単)	42.99	御幸山	
		(角谷俊弥・林裕人・林龍平・松永乃樹)	
			[日本ユース選手権招待(瑞穂) 10/19]
メドレーリレー	2.05.41	御幸山	
		(角谷俊弥・林龍平・松永乃樹・林裕人)	
			[名古屋地区通信 OP(瑞穂) 6/16]
4×400mR	3.32.22	御幸山	
		(林裕人・角谷俊弥・林龍平・松永乃樹)	
			[エコパトラックゲームズ(小笠山) 11/2]
棒高跳	4.50	松永 乃樹(御幸山)	
			[東海総体(瑞穂) 8/10]
砲丸投	15.00	白藤 聖陽(矢作)	
			[ジュニアオリンピック(日産スタジアム) 10/27]
中学女子			
200m	24.84	掛川 栞(豊明・栄)	
			[ジュニアオリンピック(日産スタジアム) 10/26]
400m	57.80	掛川 栞(豊明・栄)	
			[デカスロン in 愛知(瑞穂北) 11/10]
4×400mR	4.02.70	大高	
		(江藤亜美・鈴木朱音・山口真知・柴崎五月)	
			[名古屋地区選手権(瑞穂) 10/6]
小学生女子			
4×100mR	51.36	安城 JAC	
		(石川真菜・石川留菜・倉山捺希・竹崎郁乃)	
			[全国小学生交流(日産スタジアム) 8/23]
7kg・6歳5年	48.60	国府 亜実(なごや陸上クラブ)	
			[県小学生選手権(知多) 11/4]

ギネス記録

2月2日に開催された第63回別府大分毎日マラソンにおいて、片岡昌子さん(eA愛知) 24位3時間09分52秒・哲朗さん(愛知県庁ク) 70位2時間31分20秒、合計タイム、5時間41分12秒の親子マラソンギネス世界記録を樹立しました。従来の記録を40分53秒と大幅な更新をしました。(岡田 武彦)

女性委員会



都道府県女子駅伝を応援する愛知陸協応援団

1月12日(日)皇后杯第12回全国女子駅伝大会が京都府西京極陸上競技場で行なわれました。この大会を現地で応援しようという事で、今年度も総務委員会と合同で「応援バスツアー」を企画しました。23名の参加者の皆様と京都へ出発、京都到着後は沿道での応援へ行かれる方、競技場で選手の見送りをしスタートを応援する方など、各自思い思いの応援をし、ゴールの際は水濠後方スタンドで一丸となり大声で応援もしました。競技場での応援は、西京極総合公園内の各所での大型映像でレースの状況や順位を確認することができます。また、公園内では様々なイベントも行なわれており、スポーツ用品や記念品の販売やふるさと屋台村や駅弁フェアなどもあります。各地の珍しくておいしい物を頂きながら大型映像での応援をし、最終区のランナーのゴールを待つのも、このバスツアーの楽しみとなっています。今年は愛知の若き女子チームが県最高記録で第4位と健闘の走りをしてくれましたので、応援も大変盛り上がりました。レース後に選手やコーチに会いに控え場所へ行くと、今年は1区を走った鈴木亜由子選手が選手を代表して挨拶してくれました。小さな体ですが、とても頼もしかったです。行き帰りのバスの中ではクイズやゲームをしたり、お土産を買う時間も取り、楽しく過ごしました。日頃審判等で顔を合わす程度の方達とも、一日を共にすることですっかり仲良くなり、駅伝のこともさることながら色々な陸上の話をし、愛知陸協の昔話や皆さんの選手時代の話など驚くような話も聞くことができました。

朝8時名古屋駅集合、夕方には名古屋到着と時間的にも無理のない日程です。2015年の大会は、1月11日(日)開催が決定しています。応援バスツアーも開催予定ですので、ぜひご参加ください。お待ちしております。

(谷崎 好美)

年誌資料・広報委員会

26年度も年3回の発行予定です。また、26年度は愛知陸協発足80周年となりますので、記念誌の発行を予定しています。

「愛知陸協広報」34号	11/30	<ul style="list-style-type: none"> ・陸上競技場めぐり⑦ ・専務理事のことば ・専門委員会報告 ・4地区の活動状況 ・関係団体の活動状況 ・競技会報告(県中学通信・総体、県ジュニア、県高校新人、国体、愛知ジャンプ、日本ジュニア・ユース、県小学生等) ・理事会等会議報告 ・競技会参戦及び観戦記(全国高校総体、全日中、国体等) ・慶弔報告(秩父宮章他) ・連載 <ul style="list-style-type: none"> ・ホープさん⑳ ・クラブ紹介㉑ ・学校紹介㉒ ・陸上競技場めぐり⑧
「愛知陸協広報」35号	3/31	<ul style="list-style-type: none"> ・副会長のことば ・専門委員会報告 ・4地区の活動報告 ・関係団体の活動報告 ・競技会報告(県高校・中学駅伝、市町村駅伝、東海学生駅伝、駅伝カーニバル、新春ロード・競歩、読売犬山ハーフ、マラソンフェスティバル等) ・理事会等会議報告 ・競技会参戦及び観戦記(駅伝関係<全国高校、都道府県>・マラソン他) ・慶弔報告(具体協表彰他) ・連載 <ul style="list-style-type: none"> ・ホープさん㉓ ・クラブ紹介㉔ ・学校紹介㉕ ・陸上競技場めぐり⑨

(新見 精三)

「愛知陸協広報」33～35号編集計画(案)

号数	発行月日	編集内容
「愛知陸協広報」33号	7/31	<ul style="list-style-type: none"> ・会長または専務理事のことば ・専門委員会報告及び今年度の活動方針 ・4地区の活動状況及び今年度の活動方針 ・関係団体の活動状況 ・競技会報告(国体選考、東海学生、県高校総体、県マスターズ、県高校定通、東海高校総体、東海地区国立、県・東海混成、小学生リレー、愛知レディース、愛知選手権等) ・理事会等会議報告 ・愛知陸協24年度収支決算報告 ・慶弔報告(協会会長表彰他) ・連載 <ul style="list-style-type: none"> ・ホープさん㉖ ・名岐駅伝いまむかし㉗ ・クラブ紹介㉘ ・学校紹介㉙

各地区報告

名古屋地区陸上競技協会

地区陸上競技協会が主催する陸上教室「瑞穂会場・知多会場」(谷理事担当)、「半田会場」(山内理事担当)、知多地区練習会(植田副理事長担当)、名古屋市ジュニア練習会(谷口理事担当)に多くの参加者を得て、普及委員会のメンバーを中心に、指導者の熱意で冬期トレーニングが実施されました。参加者が、4月からの競技会で大きな成果を発揮してくれると期待しています。

2013年度名古屋地区活性化のために、各委員会では下記の「マニフェスト」にしたがってこの一年取り組みました。日頃の地区競技会の準備・運営等で、時間のないところを皆さんの努力で、その取組が一步一步着実に前進していることが感じられます。昨シーズンの総括の中から出た課題を、積極的に検討して改善を図りました。特に、大会参加者の増加に伴う、タイムテーブル上や大会運営上の

問題をクリアするために、競技委員会を中心に、大会要項の作成に時間を掛け、検討会を数回持ちました。大会に参加した選手が気持ちよく感じられるような環境を作るために、各役員に汗をかいていただいています。3月4日に開催した理事会で、2014年度事業計画・予算案の承認を得て、4月5、6日に瑞穂で開催される第1回名古屋地区競技会からトラックシーズンがスタートします。

また、競技者・審判登録者数も増加し、地区全体のまわりはなかなか難しいかもしれません。役員を中心に2014年度も頑張りますので、是非登録会員の皆さんは、元気な地区になるために、一人一人の力を貸していただき、各方面でのご協力をお願いします。

2013年度「マニフェスト」

- ：すでに実現したもの
- △：今後の努力を要するもの

①総務委員会

- △ホームページの開設と管理
- △名古屋地区広報の発行
- 名古屋地区表彰(優秀審判員・優秀選手・優秀指導者)

②競技委員会

- 審判委員会と連携して適切な大会のタイムテーブルの作成
- △大会申込からプログラム作成の情報処理によるシステム化

③審判委員会

- 審判員名簿の作成と整理
- 円滑な大会運営のための審判編成

④記録・情報委員会

- 名古屋地区十傑表の作成
- △主催共催大会の速やかな記録申請と結果報告

⑤施設用器具委員会

- △若手の審判員の養成

⑥選手強化委員会

- △全国大会で活躍する選手の育成

⑦普及委員会

- ジュニア強化練習会の充実
- 「ふれあい教室」をはじめとする小学生の育成指導
- △若手指導者の育成

⑧会計

- 会計の名古屋地区陸協と名古屋市陸協との分離
(青木 実)

尾張陸上競技協会

平成25年度を振り返って

平成25年度を締めくくる最後の事業として、第61回尾張駅伝競走大会を1月19日(日)愛知県営一宮総合運動場および周辺周回コースで実施した。本年度は陸上競技場が公認更新工事で使用できないため、スタート及びタスキをつなぐ中継点を競技場外に設け走行距離も一部変更したコースで実施した。尚、今回の大会記録は参考記録として残す。

6部門に115チーム(オープン参加含む)が健脚を競った。成績は以下のとおりである。

一般男子一部(20.8Km)

1	ぬまちゃんず	1.07.32
2	A.U.R.C	1.07.57
3	愛知教育大学	1.09.58

高校男子(20.8Km)

1	愛知黎明	1.04.38
2	一宮A	1.05.47
3	西春A	1.06.30

高校女子(18.7Km)

1	愛知黎明	1.05.28
2	津島北	1.09.47
3	津島	1.11.26

中学男子(14.5Km)

1	宮田A	45.47
2	古知野A	46.50
3	犬山A	47.24

中学女子(14.5Km)

1	祖父江A	54.19
2	古知野A	56.28
3	犬山南部A	57.51

また尾張陸上教室は陸上競技場が使用できないため、本年に限り開催を2回に減らして知多陸上競技場で計画したが、交通の便等諸事情で、参加者も小学生4名、中学生22名、高校生160名と若干低調であった。来年度の新規改修となった陸上競技場での実施に期待している。尚、2回目(2月8日)は降雪で中止となった。

平成26年度は新規事業を含め、尾張陸上競技協会主催の事業拡大も視野に計画を進めている。更にハードルと走高跳用マットの更新、設置されないままであったスタートシステム(信号装置)の導入などで競技場の施設・備品の充実を図った。

新たな年度へ向けて尾張陸協が大きく飛躍できるよう、未来を予感させるアスリートの誕生を願っている。また、引き続き関係の皆様方にはご支援ご協力いただけますことを切に希望している。
(小島 末広)

西三河陸上競技協会

西三河陸上競技教室を12月22・23日(日・祝)と1月25日(土)の3日間、安城市陸上競技場及び併設の野球場で開催しました。

今年度は、昨年度若返った強化委員会の夏目・浅岡正副強化委員長を中心に、前回までとは違うより効果的な実施方法を考えていただき、新しい形で実施しました。前回までは3日間全ての参加者を対象に実施してきました。しかし、参加者数が多く、十分な活動場所の確保ができない中、怪我等を心配しながらの実施となっていました。そこで今年度は、対象者を3回に分け、第1回中学生(645名参加)・第2回高校生(510名参加)・第3回中高の選抜者(241名参加)と対象者を分けて実施しました。参加者数の減少に伴い活動場所については、昨年と比較して多少は確保しやすかったかと思えます。しかし、一方ではチーム内での選手の参加日が異なること、参加者を分散したにもかかわらず依然活動場所は十分とはいえない状態である等、まだまだ解決しなくてはならない課題も多々残りました。来年度に向けて、よりよい実施方法を検討していきたいと考えています。

また、第3回陸上競技教室の開会式において、今年度の西三河陸上競技協会会長表彰を実施しました。対象者は重複者を除き、「世界陸上入賞1名」「日本選手権入賞3名」「国体入賞4名」「全日中入賞6名」「全国小学生入賞8名」「全国小学生クロカン入賞6名」でした。その後成人の受賞者の皆さんは、終日陸上競技教室の指導者として参加してく

ございました。最後の閉会式においては、受賞者を代表して、日本選手権入賞の中野弘幸選手からご挨拶をいただきました。将来全国大会入賞を目指す参加者にとっては、有意義な1日であったと思います。(櫻井 一美)

- 引き続き小・中・高・一般の計画している強化事業への人的・経済的支援をする。
- 研究会・講習会・全国大会へ派遣して、選手及び会員の資質の向上を図る。(夏目 輝久)

東三河陸上競技協会

平成26・27年度主な役員一覧表(平成26年1月12日 東三河地区理事会)

会 長	夏目 輝久	
副 会 長	白井 良三・杉浦 吉春・岩瀬 金道 千葉 正士・伊藤 朝一	
理 事 長	兵藤 重二	
副理事長	仲井 雅弘	
理 事	小・中・高・一般・地区代表・女性の各理事を選出	
会 計	福田 勝顕・(白井 忠彦)	
秘 書	中西 征裕・山本 誠司・(福田 勝顕)	
専門委員長	総 務	山本 誠司
	競 技	横地 勝
	審 判	山本 法史
	記 録	鈴木 信弘
	施 設	中村 昭広
	強 化	鈴木 克哉
	マスターズ	杉山 成生

上記のように平成26・27年度の東三河陸上競技協会の役員が決まりました。引き続き協会役員・会員の皆様へ大会の運営にご協力をお願いいたします。

本年度は、何といても平成22年度より豊橋市・豊橋市体育協会に要望してきた陸上競技場の施設・設備の改修の動きが現実となってきたことです。これも、会員の皆様の署名運動をはじめとする地道な活動とご支援のお蔭と感謝いたしております。

平成26年度の豊橋市の「予算の見どころ」の中にこの様に記載されています。

◎陸上競技場メインスタンドを整備します。

【概要説明】

現在の正面スタンドは、築後50年以上経過しています。バリアフリー化した障害者観覧室や室内走路を備えた屋根付きメインスタンドを整備し、施設の機能及び利便性の向上を図ります。なお、平成26年度は、基本設計を実施します。

昭和24年に建設された豊橋陸上競技場は、多くのアスリートを育てその活躍を見つめてきました。特に正面スタンドは、施設としての老朽化が激しく、選手はもとより競技役員や応援する陸上競技ファンに多くの不便をお掛けしております。

つきましては、会員の皆様のご意見・ご要望をいただき、より良い豊橋陸上競技場にしたいと思っておりますので、よろしくをお願いいたします。

【平成26年度主な目標】

- 豊橋競技場正面スタンド建設を始めとする、諸施設の建設・改修の基本設計への協議参加。
- 会員の東三河陸上競技協会への関心(総会開催・大会運営・強化策等)を高める。

関係団体報告

小学生友の会

2月15日(土)に半田運動公園陸上競技場でジュニア指導者講習会を行ないました。前日の大雪で参加者が減ることが心配されたが、県内各地から50名近い指導者が参加しました。

日本陸連普及委員の新帯哲也先生をお招きし、年齢に応じたトレーニングに関する講義とハードルを使ったストレッチ、ケンステップを使ったスタートの動きの指導法についての実技講習を行ないました。

風が強く吹き外で体を動かすにはつらい天候でありましたが、どの指導者も熱心に講習を受けました。

26年度も同じ時期に講習を予定しています。多くの方の参加をお待ちしています。(石田 伸)

中小体連

2014年度に向けて

2013年度は、中体連に関わる大会、行事に御協力いただきまして、誠にありがとうございました。とりわけ夏に行なわれました、第40回全日本中学校陸上競技選手権大会につきましては、愛知陸上競技協会をはじめ多くの方々に御助言、御支援、御協力をいただきまして、誠にありがとうございました。愛知全中で培った大会運営、選手強化のノウハウを今後の活動に活かしていけたらと思います。本当にありがとうございました。

東海ブロック初の取り組みとして、2013日本陸上競技連盟U-16ジュニア研修合宿東海ブロック合宿を1月18日(土)、19日(日)の二日間、静岡県の小笠山総合運動公園エコパ陸上競技場にて開催いたしました。各県から選抜された40名、計160名のトップクラスの選手を対象に、各県から指導者を10名ずつ選出し、計40名で指導にあたりました。本県からは、強化委員会ハードルブロック主任の鈴木潔先生にブロック主任として、中心となって指導していただきました。東海地区の先生方とは、大会等で顔を合わせることはあっても、一堂に会して選手を指導する機会はこれまでありませんでしたので、我々指導者にとっても、また選手にとっても大変有意義な合宿となりました。来年度もエコパ陸上競技場で実施する方向で調整中です。いずれ愛知県での開催の可能性もありますので、指導者の皆様方ご承知おきください。



2013日本陸上競技連盟U-16ジュニア研修合宿東海ブロック合宿での様子
愛知全中に向けて行なって行ってきたジュニア強化練習会を、本年度も引き続き1月より月1回ペースで実施してきまし

た。2014年度に行なわれる香川全中に一人でも多くの選手が参加し、また上位入賞者を多く輩出することを目標に強化してきました。毎回、選抜された選手が熱心に練習に取り組む姿が見られ、また我々指導者の意見交換・指導力向上の場としても、有効に機能していたように思います。今後も、このような形でジュニア強化を末永く続けていけたらと思います。

5年間に渡り、中小学校体育連盟陸上競技部の専門委員長として活動してまいりましたが、3月末をもってその役を終えることとなりました。多くの方々に支えられ、励まされ、何とかやってきた5年間でした。本当にありがとうございます。私の力不足で十分な活動ができなかったり、選手に肩身の狭い思いをさせたり、また顧問の先生方には多大なる迷惑を掛けたりしました。まだまだやるべきことが多く残っている気がします。後任の者がしっかりとやってくれることと確信しております。最後に、全中で掲げました「アスリートファースト」と「おもてなしの心」を、中体連に関わる全ての人の心にとめていただけたらと思います。選手あっての競技会、選手あっての強化ですので、選手を大切にすることを忘れずに、大会運営、選手強化にあたってください。これは、この5年間で私が一番学んだことでもあります。長い間、どうもありがとうございました。中体連を今後ともよろしく願いいたします。

(久米 裕朗)

高体連

平成25年度を振り返って

平成25年度も高体連行事としては、3月に高知県で行なわれた全国選抜合宿が最後となりました。愛知県からは中京大学附属中京高校の女子走高跳松井選手が参加をしました。年末の全国高校駅伝では女子の部で豊川高校が2年ぶりの優勝を、2位に大差をつけて成し遂げました。日頃

からの選手の精進に敬意を払いたと思います。男子の豊川工業高校も入賞はなりませんでしたが、選手の頑張りには賞賛に値するものがありました。両校の活躍に感謝をいたします。平成26年度は男子の記念大会として東海代表枠があります。愛知県としてこの1枠を是非獲得し、2校が都大路を駆け抜けることを期待したいと思います。

さて、平成26年度は6月に東海高校総体、11月に東海高校駅伝が愛知県にて開催されます。競技運営において、高体連中心で行ないませんが、基幹役員においては愛知陸上競技協会にお世話にならなくてはなりません。何とぞご協力をお願いいたします。

本年度の全国高校総体は山梨県甲府市中銀スタジアムにて7月30日から5日間開催されます。ここ数年は先生方のご指導のもと愛知県勢として約100名の出場者を出すことができている。入賞者数は横ばいですが優勝者が減少傾向にあるようです。平成30年には、全国総体が東海地区の当番として、陸上競技は三重県で開催されます。多くの出場者はもちろんですが、愛知県として多数の入賞者や優勝者を出せるように頑張っていかなければならないと考えています。強化委員会ともタイアップしながら、愛知を盛り上げていきたいと思っています。先生方のご協力をお願いいたします。

間もなく平成26年度のトラックシーズンが始まります。好記録、好成绩に競技場だけが盛り上がるのではなく、愛知県全体が盛り上がるように、各学校の選手、先生方とともに頑張っていきたいと思っています。よろしく願いいたします。

(石井 哲郎)

高体連定通部

来シーズンへ向けて

定通部は冬季の大会がないので、トレーニングを継続し

ホープさん ㊤

水谷 来 選手 (岡崎城西高)



踏切練習

水谷来は走高跳で朝日丘中学のときから全国大会に出場(ベスト記録1m95)し、ジュニアオリンピックでは全国入賞をしている選手です。

高校に入学しても順調に記録を伸ばし、1年生で全国インターハイの決勝進出(2m01)を果たしています。2年生ではインターハイでの入賞を目標に意気込んでいましたが、助走のズレから東海大会で入賞を逃し、インターハイの道は閉ざされてしまいました。自分の力のなさ、未熟さからの結果とはいえ、競技に対するプライドは高い選手だけに、受け入れがたい現実だったと思います。このまま落ち込んで、足踏み状態になってしまうのではないかと心配しましたが、それは杞憂に終わりました。それは次の日の朝練習に励む彼の姿を見たからです。秋からの活躍は見事でした。県新人戦で2m06、西三河選手権で2m08と記録を伸ばし、目標にしていた全日本ユース選手権では、悪天候の中、ただ1人2m03をクリアして優勝。さらに東海新人戦では2m10(大会新)を樹立しました。彼の前向

きな性格と、夏の練習での頑張り、特に助走練習を何度も反復した結果だと思っています。

まだまだ身体的にも、精神的にも未熟な競技者ではありますが、それを補うだけの素質を持っています。今年はインターハイでの優勝と2m20をクリアするという目標を立てて、練習に励んでいます。簡単な目標ではありませんが、彼のこれからの努力次第で可能だと思っています。

最後に、彼には高校だけでなく日本を代表するような選手になることを期待しています。応援よろしく願いいたします。

(宇野雅昭)



跳躍力アップのための筋トレ

ていくことにひと工夫がいる。各校の顧問は、市民マラソン大会や陸上教室へ参加させることなどで、選手の気持ちを保たせながら指導をしている。

26年度の県内の大会は、例年の日程で開催できることが決まった。2月2日東京での全国代表者会議で示された全国大会は、競技会場がこれまで48回の歴史を刻んできた国立競技場から駒沢競技場へ変わるようになった。これに伴って、競技日程(時間)も大きく変更になった。27年度以降も会場は駒沢になるが、宿舎からの交通手段などが課題となる。

全国での活躍が期待される選手は、女子走高跳の山口浩美(豊橋・昼)で、三連覇と大会新記録更新が期待されている。女子円盤投の武井晴加(半田商業・夜)は砲丸投との2種目入賞、男子400mで日高丈貴(刈谷東・夜)が3位以内をめざし、リレーを含めて愛知のエースとして期待されている。走幅跳の田中大樹(豊橋・昼)も自信をつけてきて、上位入賞をねらえる。ただ不安材料は、これまで愛知を引っ張ってきた科技高刈谷に例年の強さが見られないことである。是非、科技高刈谷と豊橋・昼を中心に今年度の女子総合準優勝の勢いを来年度にも繋げてもらいたい。(松橋 政人)

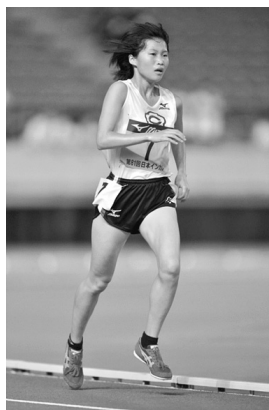
学連

来シーズンに向けて

東海学連は役員任期満了に伴い2月9日の評議員会において次期役員を決定した。新しい会長には安藤好郎先生(中京大学)が就任、副会長には吉村篤司先生(名古屋工大)が前期に引き続き再任、また新たに前ヘッドコーチの杉田正明先生(三重大学)が副会長に就任した。またヘッドコーチには黒須雅弘先生(東海学園大学)が選出され、愛知県在住の役員が中心の布陣で来シーズンに臨むこととなった。

昨年、一昨年とオリンピック、世界選手権、ユニバーシアードなどの国際大会で大活躍を見せた東海学連であるが(陸上競技とは関係がないが、今年のソチ冬季五輪には七種競技の選手である小野寺佳歩選手=中京大学4年生がカーリング選手として出場したことも話題となった)、来シーズンは国際大会で活躍した選手の卒業(山本聖途、鈴木重由子等)に伴い国際舞台では苦戦を強いられることになりそうである。

その中で特に注目されるのが昨年のユニバーシアード女子5000mにおいて銅メダル獲得の大活躍を見せた荘司麻衣(中京大学2年生)である。地元岡崎学園の出身で大学入学後急激に頭角を現してきた選手であるが、1年生の全国大学女子駅伝1区で区間賞を獲得して以降、昨年のユニバーシアードでのメダル獲得と順調に成長している。3年生となる来シーズンはトラック、駅伝共にさらなる活躍が期待される。



荘司麻衣選手

来シーズンは日本インカレが9月5日から7日まで埼玉・熊谷で、西日本インカレが7月4日から6日まで福岡で開催されるが、昨年のユニバーシアード男子4×100m R 銀メダルの与那国壘(中京大学)、日本インカレの男

子100m・200mに入賞した寺田健人(中京大学)、昨年の東海学生秋季大会で10秒38の好記録をマークした増田貴(岐阜経済大学)、昨年の日本インカレ男子400m4位の加藤良祐(豊田高専)、同十種競技3位の清水剛士(近大高専→中京大学)などには昨年以上の活躍が期待される。女子では1年生ながら昨年の日本学生個人選手権400m優勝の名倉彩夏(中京大学)、日本インカレ入賞の木引悠起子(愛知教育大学)、山田舞子(至学館大学)の400m陣、昨年の日本インカレ投てき2種目(砲丸・円盤)2位の中田恵莉子(中京大学)、1年生ながら日本インカレ女子やり投入賞の中島美穂(中京大学)などに期待がかかる。

文末ではあるが、去る2月16日東海学連会長の伊藤晃先生(増子記念病院理事長)がお亡くなりになった。任期を終える直前であったが、副会長・会長として東海学連には長年ご尽力頂いた。ご冥福をお祈りしたい。(本田 陽)

愛知陸協 OB・OG 会



愛知陸協 OB・OG 会平成26年新年懇親会を、尾張地区のお世話で1月22日(水)・23日(木)に33名の方が出席のもと、盛大に開催することができました。

会場は犬山城のふもと、温泉旅館として名高い「迎帆楼」。3時30分の受付後各部屋に分かれ、犬山温泉・白帝の湯でゆっくりとくつろぎ、心づくしの料理で懇親の輪がいやがうえにも盛り上がり、親睦を深めることができました。

懇親会は年に一度ですが、陸上競技に関わった仲間同士が共に一夜を過ごして親睦を深めたいと思います。今回ご都合で出席できなかった方々も、次回は是非ご参加ください。

しかし、OB・OG 会の3日後、世話人としてご協力いただきました高木章治さんが体の変調をきたし、入院手術されましたが帰らぬ人となりました。ほんの3日前に楽しく新年会を共にしたばかりなのに残念でなりません。心よりご冥福をお祈り申し上げます。(村瀬雄一郎)

マスターズ陸上

心豊かな長寿社会への貢献役

年度末を間近に控え、ビッグニュースが入ってきました。3月2日東京都武蔵野の森公園で行なわれた第26回都道府県対抗全日本マスターズ駅伝競走大会で、愛知は対抗の部、エルダーの部ともに3位に入賞しました。

中でも対抗の部3区(男子50歳代)で豊田市の下川勝彦選手が、4年連続同一区間で区間賞を獲得しました。これまでこの大会での区間賞は、エルダーの部では東二三子選手、長坂恵子選手、中山淳子選手でした。また、メインの対抗の部では、1998年トヨタ自動車の内藤貴充選手、2010年愛三工業の井幡政選手等がそれぞれ1回獲りました。特に下川選手の区間賞は、同じ年齢クラス区間で連続

4回という全く夢のような快挙です。来年は、前人未踏の完全制覇の5連覇に期待がかかります。

大会当日は小雨が降る中でスタートしました。愛知の1区谷口めぐみ選手が12位、2区の犬塚勝美選手が13位、3区の下川選手が3人抜きの区間賞で10位に上げ、ここから追い上げが始まりました。4区の長坂選手が区間3位の4人抜きの好走で6位に上げ、5区中山史信選手がスピードを生かし4位とし、6区夏目勝也選手も2つ順位を上げ2位、7区山口幸三選手が2位をキープしアンカー菅谷宗弘選手に繋がりました。元実業団選手が競う激戦の中、結果は1位兵庫、2位東京、愛知は3位でゴールしました。

エルダーの部も4区(女子55歳代)で中山選手が圧倒的な強さで区間賞を獲得しましたが、愛知は最終的には1位茨城、2位神奈川に続く3位でゴールしました。対抗の部、エルダーの部とも小雨が降り続き、厳寒の悪コンディションの中、素晴らしい走りを見せてくれました。

平成25年度の最後の行事は、総会です。平成26年3月23日に岡崎市シビックセンターで開催しました。今回の総会では例年どおり今年度の事業報告と決算報告及び来年度の事業計画、予算のほか、表彰規程の制定が審議され、いずれもすべて承認されました。(佐野 昭二)

第8回愛知県市町村対抗駅伝競走大会 2013年12月7日(土) 愛・地球博記念公園

順位	市の部		町村の部	
1	豊橋	1.29.39	東浦	1.34.18
2	名古屋	1.31.20	武豊	1.38.35
3	田原	1.31.40	阿久比	1.38.52
4	岡崎	1.32.18	東郷	1.39.38
5	豊田	1.32.52	幸田	1.40.26
6	豊川	1.34.03	美浜	1.43.10
7	刈谷	1.35.42	豊山	1.43.42
8	瀬戸	1.35.55	大口	1.45.01
9	西尾	1.36.12	設楽	1.45.41
10	江南	1.36.26	扶桑	1.45.46

区間賞 (○数字は区間を示す)

市の部

- ①西川 優衣(豊橋)
- ②林 辰也(田原)
- ③池田 昌雄(名古屋)
- ④松浦 亜純(清須)
- ⑤山下 和希(岡崎)
- ⑥酒井 公輔(岡崎)
- ⑦鈴木亜由子(豊橋)
- ⑧荘司 麻衣(瀬戸)
- ⑨田中 秀幸(豊橋)

町村の部

- ①猪塚 真希(東浦)
- ②永山 周輝(東浦)
- ③江本 悟司(東浦)
- ④吉田 彩乃(東郷)
- ⑤木村 駿(美浜)
- ⑥湯野澤太陽(幸田)
- ⑥山田 脩(扶桑)
- ⑦富田 光江(東浦)
- ⑧西川かりん(武豊)
- ⑨平岩 篤弥(幸田)

モリコロ賞

市の部

順位	チーム	昨年度順位	今年度順位	上昇順位	タイム
1	知立	38	14	24	1.37.12
2	瀬戸	28	8	20	1.35.55
3	稲沢	36	23	13	1.38.40

町村の部

順位	チーム	昨年度順位	今年度順位	上昇順位	タイム
1	豊山	12	7	5	1.43.42
2	武豊	4	2	2	1.38.35
2	大口	10	8	2	1.45.01
2	設楽	11	9	2	1.45.41

競技会報告

第53回中部実業団対抗駅伝

2013年11月17日(日)
伊良湖クリスタルポルト〜たはらはなとき通り
7区間 83.6km

成績(本県分のみ)

- 1 トヨタ紡織 4.07.27
(市川孝徳・パトリック ムトゥンガ・大池達也・椎谷智広・山本芳弘・早川智浩・白柳智也)
- 2 トヨタ自動車A 4.08.46 5 愛知製鋼A 4.14.34
- 4 愛三工業 4.13.27 6 トーエネック 4.18.47

第75回東海学生駅伝対校選手権大会

2013年12月1日(日) コース: 知多半島一周 7区間

男子成績

- 1 中京大 A 3.22.36
(米谷卓也・山口泰輝・中島章博・近藤駿一・於久幸大・鈴木紀公・田中陽介)
- 2 愛工大 3.23.09 5 皇學館大 A 3.25.08
- 3 名大 A 3.23.20 6 静岡大 3.25.39
- 4 岐経大 3.23.40

第7回東海学生女子駅伝対校選手権大会

2013年12月1日(日) コース: 知多半島半周 5区間

女子成績

- 1 名城大 A 1.29.25
(満澤 茜・安原 光・松山芽生・大津真里奈・村岡実生)
- 2 中京大 1.31.34 5 名大 1.37.09
- 3 愛教大 A 1.33.35 6 至学館大 1.40.31
- 4 東海学大 1.36.27

2013年駅伝カーニバル 2013年12月15日(日) 庄内緑地公園周回コース



男子中学の部スタートの様子(写真提供: 中日新聞社)

成績

男子一般

1 庄内 RT	58.03		
(ケアーハウエル・野崎 洋平・割田 雄貴・池田 昌雄・中野 哲也)			
2 大同特殊鋼	58.44	5 名古屋市消防局	1.02.21
3 愛知大学	58.45	6 アイシン AW	1.02.41
4 YAMATE AC	1.02.06		

男子高校

1 豊橋南	57.41		
(伊藤 哲矢・高柳 佳怜・伊藤 和磨・安藤 康平・円尾 翔吾)			
2 千種	58.13	5 国府	59.44
3 愛知黎明	58.27	6 一宮	59.46
4 至学館	59.14		

女子一般高校

1 千種	38.42		
(鈴木 智子・佐光菜々子・森田 琴乃・林 佑南)			
2 愛知教育大 A	38.44	5 岡崎城西高 A	39.52
3 至学館高 B	39.07	6 至学館高 A	40.42
4 愛知黎明高	39.09		

男子中学

1 竜海中 A	35.01		
(溝口 琉愛・栗木レオナルド・竹内 奨真・惣ト真一郎)			
2 矢作中 A	35.10	5 六ツ美北中 A	35.29
3 翔南中 A	35.24	6 南稜中 A	36.10
4 岡崎甲山中 A	35.28		

女子中学

1 六ツ美北中 A	39.59		
(山田 綾香・中田 響子・太田 麻葵・浦野 真由)			
2 矢作中 A	40.33	5 岡崎甲山中 A	41.26
3 矢作北中	40.38	6 六ツ美中 A	41.49
4 竜海中 A	41.08		

第21回全国中学校駅伝大会

2013年12月15日(日)
山口県セミナーパーク・クロスカントリーコース
男子の部(18km) 女子の部(12km)

男子成績(本県分のみ)

第13位 豊川東部	58.33
(上田 怜志・小林福茂・森下和紀・山本起弘・富田元哉・小山侑紀)	

女子成績(本県分のみ)

第24位 豊川東部	43.14
(夏目蒼衣・内藤沙羅・中野陽奈子・田口絵麻・松下亜衣)	

第25回全国高校駅伝(女子)

2013年12月22日(日)
西京極運動公園陸上競技場 5区間 21.0975km

成績(本県分のみ)

優勝 豊川	1.06.54
(関根花観・堀 優花・加治屋ななこ・榊原海紗・鷺見梓沙)	
区間賞 3区(3km) 加治屋ななこ(豊川)	9.33(区間新)

第64回全国高校駅伝(男子)

2013年12月22日(日)
西京極運動公園陸上競技場 7区間 42.195km

成績(本県分のみ)

第17位 豊川工	2.07.07
(大野日暉・城越勇星・富安 央・山田滉介・鈴木貴博・白頭徹也・田中智也)	

第45回新春愛知ロードレース・競歩競技会
平成26年1月1日(水) 庄内緑地公園周回コース

成績(太字は愛知登録)

一般男子10km

1 中村 賢治(三菱重工)	33.30
2 立道 功武(筑波大)	35.01
3 古田 卓也(尾張クラブ)	35.03

一般男子3km

1 田中 信行(大阪陸協)	14.55
---------------	-------

一般男子20km競歩

1 山崎 勇喜(自衛隊体育学校:埼玉)	1.27.45
2 寿 悠太(小松短大:鹿児島)	1.33.08
3 今川 智博(愛教大ク名古屋)	1.52.20

高校男子10km

1 松井 駿佑(愛産大三河)	32.38
2 大川 隼平(愛工大名電)	33.06
3 平石 汰一(愛産大三河高)	34.21

高校男子3km

1 平川 淳悟(愛産大三河)	9.25
2 小林 哲也(愛産大三河)	9.26
3 吉川イサム(愛産大三河)	9.34

高校男子10km競歩

1 及川 文隆(愛知)	45.15
2 富田 繁(岡崎北)	45.42
3 柴田裕一郎(愛産大三河)	45.53

中学男子3km

1 木村 駿(知多TC)	9.40
2 中川 侑斗(愛知陸協)	9.51
3 高橋 裕哉(AC一宮)	9.58

一般高校女子10km

1 中原 舞(中部学院大:岐阜)	38.10
2 中山 淳子(愛教大ク名古屋)	41.00

一般高校女子3km

1 棚橋 愛以(済美高:岐阜)	10.56
2 大谷 芳江(愛工大名電高)	11.13
3 二村 美穂(愛工大名電高)	11.22

一般高校女子5km競歩

1 五藤 怜奈(済美高:岐阜)	24.11
2 杉本 梨保(至学館高)	26.41
3 小椋 利佳(富田高)	26.58

中学女子3km

1 井内 月野(知多TC)	10.57
---------------	-------

第33回全日本実業団対抗女子駅伝

2013年12月15日(日) 宮城県松島町~仙台陸上競技場

成績(本県分のみ)

第16位 豊田自動織機 2.22.50
(菅華都紀・横江里沙・小林祐梨子・ワインナイナ ムルギ・沼田未知・永田あや)

第58回全日本実業団駅伝

2014年1月1日(水) 群馬県庁発着

成績(本県入賞分のみ)

第7位 トヨタ自動車 4.57.59
(藤本 拓・ジョセフ カマシ・田中秀幸・宮脇千博・大石港与・松本賢太・熊本 剛)
区間賞 4区 宮脇千博(トヨタ自動車) 1.03.35

第32回全国都道府県対抗女子駅伝競争大会

2014年1月12日(日) 京都西京極陸上競技場発着

総合 愛知 4位 2.16.25

区間(距離)	選手	所属	時間	区間成績	通過順位
第1区 6km	鈴木亜由子	名古屋大	19.22	3位	3位
第2区 4km	鷺見 梓沙	豊川高	12.15	1位	1位
第3区 3km	西川 優衣	東陽中	10.10	33位	6位
第4区 4km	宮田佳菜代	時の栖(静岡)	12.48	2位	3位
第5区 4.1075km	堀 優花	豊川高	13.03	2位	3位
第6区 4.0875km	関根 花観	豊川高	12.42	1位	2位
第7区 4km	加治屋ななこ	豊川高	12.41	3位	2位
第8区 3km	川口 桃佳	福江中	10.14	10位	2位
第9区 10km	荘司 麻衣	中京大	32.10	12位	4位

第19回全国都道府県対抗男子駅伝競争大会

2014年1月19日(日) 広島市平和記念公園前発着

総合 愛知 17位 2.21.22

区間(距離)	選手	所属	時間	区間成績	通過順位
第1区 7km	皆浦 巧	豊川高	20.32	22位	22位
第2区 3km	山下 和希	翔南中	8.51	16位	18位
第3区 8.5km	田中 秀幸	トヨタ自動車	24.26	19位	19位
第4区 5km	山藤 篤司	愛知高	14.44	13位	16位
第5区 8.5km	大野 日暉	豊川工高	25.14	15位	14位
第6区 3km	内山 将志	五並中	9.02	23位	20位
第7区 13km	大石 港与	トヨタ自動車	38.33	21位	17位

第36回読売犬山ハーフマラソン

2014年2月23日(日) 公認犬山ハーフマラソンコース



今年も名証犬山運動場発着で、登録の部ハーフ男女・10km 男女、一般の部のハーフ(豪傑・猛者・つわもの・初陣)男女と10km 男女を含めて、1万人を超える参加者で実施しました。天候に恵まれ、好成績が出ました。

<写真はトップ争いを繰り広げる其田選手と二岡選手(いずれも駒澤大) 写真提供: 読売新聞社>

大会成績結果(太字は愛知登録)

登録ハーフ男子

- 1 其田 健也(駒澤大) 1.03.44
- 2 二岡 康平(駒澤大) 1.03.50
- 3 池上 秀志(京都陸協) 1.04.04
- 4 早川 智浩(トヨタ紡織) 1.04.24
- 5 中元 健二(愛三工業) 1.04.28
- 6 竹下 正人(愛知製鋼) 1.04.43

登録ハーフ女子

- 1 右田 愛(ワコール) 1.14.05
- 2 森 聡子(ワコール) 1.14.43
- 3 児玉 柚稀(ワコール) 1.16.09
- 4 足立依実子(AIHO) 1.20.35
- 5 長井真由美(小島プレス) 1.20.35
- 6 平井恵美子(枚方マスターズ) 1.21.37

登録10km男子

- 1 中川 智春(トーエネック) 30.49
- 2 飛田 航兵(豊川高) 30.59
- 3 西尾 文吾(名古屋大) 31.08
- 4 渡邊 克則(コモディイイダ) 31.09
- 5 竹内 大地(中京大中京高) 31.27
- 6 村瀬 俊哉(中部大第一高) 31.28

登録10km女子

- 1 高谷 静香(愛知電機) 34.37
- 2 中根 千明(中京大中京高) 34.54
- 3 関 真里奈(愛知電機) 34.58
- 4 潮田 小波(中京大中京高) 35.33
- 5 草薨あずさ(小島プレス) 35.49
- 6 尾形ひとみ(愛知電機) 36.11

名古屋ウィメンズマラソン
平成26年3月9日(日) ナゴヤドーム発着

(写真提供: 中日新聞社)



世界的にも珍しい女子だけのマラソンの出走者数14,675名は、今年もギネス記録更新となりました。同時に行なわれたマラソンフェスティバルに新たにホイールチェアマラソン(クォーター)も実施され、大いに盛り上がりました。各方面のご協力に感謝いたします。

- 1 マリア・コノワロワ(ロシア) 2.23.43
- 2 エレナ・プロコプツカ(ラトビア) 2.24.07
- 3 木崎 良子(ダイハツ) 2.25.26
- 4 早川 英里(TOTO) 2.25.31

5	田中 智美 (第一生命)	2.26.05
6	アグネス・キプロップ (ケニア)	2.27.51
7	堀江 美里 (ノーリツ)	2.27.57
8	加藤 麻美 (パナソニック)	2.29.08



愛知選手権女子マラソン
平成26年3月9日(日) ナゴヤドーム発着

1	山口紗也加 (愛知電機)	2.53.49
2	兼松 藍子 (名城 ARC)	2.54.07
3	富田 光江 (あいち健康の森走遊会)	2.56.31
4	足立依実子 (AIHO)	2.57.56
5	平賀 恵子 (名城 ARC)	2.59.39

名古屋シティマラソン
平成26年3月9日(日) ナゴヤドーム発着

ハーフ男子	1	スコット・ウエストコット	1.04.14
	2	川内 優輝	1.04.17
	3	島 智也	1.08.24
クォーター男子	1	山内 康平	34.00
	2	東田 薫	34.44
	3	高田 由基	35.10
ハーフ女子	1	田畑 郁恵	1.18.43
	2	伊藤 恵梨	1.21.46
	3	山神 由佳	1.23.48
クォーター女子	1	上戸 涼香	38.33
	2	市川 博子	40.06
	3	中野 花菜	43.25
ホイールチェア (クォーター)	1	土田和歌子	26.11
	2	中山 和美	29.52
	3	高崎 瑞貴	30.31

理事会等会議報告

○12月理事会 25年12月11日(水) 18:00 教育会館

1 協議事項

- ① 全国都道府県対抗女子駅伝・男子駅伝の選手選考について
- ② 平成26年長崎国体強化指定選手について
- ③ 各種栄章候補者について
- ④ 愛知県体育協会被表彰者について
- ⑤ 審判員昇格候補者について
- ⑥ 平成26年度競技会等の日程(案)について
- ⑦ その他

2 報告事項

- ① 各種大会結果報告
- ② 陸連関係会議
 - ・全国強化責任者会議 (11/26)
 - ・全国普及育成担当者会議 (11/26)
 - ・加盟団体連絡協議会 (11/27)
- ③ 各専門委員会報告

④ その他

○1月理事会 26年1月28日(火) 18:00 教育会館

1 協議事項

- ① 平成26年度競技会等の日程について
- ② 80周年記念事業・実行委員会役割分担について
- ③ その他

2 報告事項

- ① 各種大会結果報告
- ② 各専門委員会報告
- ③ その他

(水野 隆夫)

お く や み

長年本県の陸上競技発展のため多大なるご尽力をいただきまして、ありがとうございました。

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。(敬称略)

逝去者氏名	逝去年月	地区名
数馬 公	25・12	名古屋
高木 章治	26・1	名古屋
伊藤 晃	26・2	評議員

栄 章

おめでとうございます

平成25年度愛知県体育協会表彰

日時 平成26年3月14日(金) 15時30分

場所 ウイルあいち(愛知県女性総合センター)

・ 功労賞

野口一昭 伊與田昌弘

・ 優秀選手賞

(国際競技会優秀成績)

室伏広治 山本聖途 鈴木亜由子 荘司麻衣

(国民体育大会優勝)

古川裕太郎

(日本選手権大会等優勝)

室伏広治 山本聖途 関根花観 堀優花

加治屋ななこ 榊原海紗 鷺見梓沙 石川真菜

石川留奈 倉山捺希 竹崎郁乃

(水野 隆夫)

編 集 後 記

◇陸協創設80周年を迎える新しい年度の、トラックシーズンが始まる。◇ジュニア・ユース大会やウィメンズマラソンも軌道に乗ってきた感がある。◇国体や全国駅伝などで愛知の力を発揮できるよう、競技者・指導者・役員が一丸となって努力したい。◇お忙しい中、出稿者に深謝。

編 集 委 員

大西 敏功	小坂 拓	榊原 英司	寺尾 健
新見 精三	西垣 完彦	野口 一昭	山下ゆかり
横田小百合			